

# 渡邊 泰子 先生

## 先生のプロフィール

### 【出身地】

奈良県

### 【専攻】

民事訴訟法

### 【近年(2~3年)の担当科目】

民事訴訟法 A・B、各種演習

### 【コロナ後に行きたい場所】

屋久島

渡邊ゼミ

## 【先生の専門科目の魅力を教えてください。】

最初はほとんどの人が、難しい、と思う科目かもしれません。でも、じっくり学んでいくうちに、こんなに面白かったのかと気付く人が続出します。ただし、それに気付けるのは、学ぶことを諦めない人に限ります。わからないからと投げ出してしまうと、決してたどり着けない、努力と忍耐の科目でもあります。噛めば噛むほど味がするスルメのような分野です。ぜひ、この民事訴訟法「沼」にはまってください。

## 【ゼミで学生に伝えたいこと、語り合いたいことを教えてください。】

伝えたいことは、自分がどういう大人になりたいのか、社会に出る前にじっくり考えることができるのは今だけだよ、ということです。自分をよくよく観察して、なりたい将来の自分に近づく努力をしてください。そのためには、色々なことに対してアンテナを張っておくことが大切です。何に興味が湧くかなんて予想できないからこそそのアンテナです。どんなことにも対応できる準備さえしておけば、人生の色々な局面でそれが役立つと思います。語り合いたいことは、ゼミ生が話したいなと思うことがあれば、何でも。

## 【先生の下で学びたい学生にお言葉をください。】

公平で適正な紛争解決の方法とはどういうものなのか。多角的な考察力を養う中で、人間力を形成してほしいと思っています。ゼミでは、先入観を持たずに、相手の話を素直に聴くことを心がけてください。それを咀嚼して理解したうえで主張し、相手を説得できる力を身につけてもらいたいです。

**【学生に薦めること、ご自身の経験から思い出されることなどあれば教えてください】**

勉学でも、部活でも、アルバイトでも、自分が熱心に取り組めるものを見つけることをお勧めします。そこから得られた経験は、少なからず皆さんの糧になると思います。私の場合は、少人数の民事訴訟法ゼミで優しい指導教授に鍛えられたこと、アルバイトで多くの人を観察する機会を得たことで、どのような人間になりたいか、将来を具体的に考えることができました。

**【学生へのメッセージ】**

学生生活は、長いようで短いです。その間に何を学ぶか、どのように過ごすかを決めるのは、自分自身です。卒業するとき、そして卒業した後に、自分が過ごした4年間で誇れる人になってください。

## 渡邊 ゼミの実態！（2022年度ゼミ生 10名）

### 渡邊泰子先生のトリセツ

- ・とても優しく、親しみやすいです。
- ・学生の発表を聞いた上で、足りないところを丁寧にフォローして下さいます。
- ・常にゼミ生のことを気にして下さり、就活等、学生の個別の事情に配慮して下さいます。
- ・次年度も継続して渡邊ゼミを選択するゼミ生も多数

#### **【日々の準備、課題】**

基本なし

（授業内で準備時間が設けられることがほとんどなので負担が少なく、サークルやバイトを充実させたい方にもおすすめです！）

#### **【長期休暇課題】**

なし

民事訴訟法は理解するのが難しく、「眠訴」と揶揄されることもあります。が、難しいからこそ理解できた時の喜びは大きいです。

渡邊ゼミでは、1年を通して、模擬裁判、事例研究、個人発表など様々なことに取り組みます。

学生思いの優しい先生の下で、仲間とともに楽しく民事訴訟法を学びましょう。